

[View this email in your browser](#)



KeMCoは無事に初の展覧会が終了し、次回展示に向けて準備を進めています。
「交景」のタイトル通り、展示はもちろん、ワークショップやシンポジウムなどを通して、塾内外のたくさんの人と「交わる」ことのできた展覧会になりました。

KeMCoの近況

「交景：クロス・スケープ」、開幕



6月18日（金）を以て、開館記念企画「交景：クロス・スケープ」が閉幕いたしました。
KeMCoのグランド・オープン記念企画となった本展覧会は4月19日(月)に会期が始まり、2ヶ月間に渡って多くの方にお越しいただきました。
展覧会では、センチュリー赤尾コレクションからの寄贈作品が主に展示された「文字景」、慶應義塾に集い、かかわる人たちの人間的な繋がりによって紡がれた収蔵品が紹介された「集景」の2つの展覧会が行われました。それぞれの資料（オブジェクト）が同じ空間に展示されることで、互いに新たな関連性（交差）を生み出しました。
また、5月29日（土）に行われた国際シンポジウム「本景——書物文化がつくりだす連想の風景」では慶應義塾と海外からパネリストをお招きし、歴史的書物（オブジェクト）と人びとの関わりについて再考しました。

2つの展覧会「文字景」と「集景」、シンポジウム「本景」によって、様々なかたちで人とオブジェクトの交差を生み出すことを目指した「交景：クロス・スケープ」は、たくさんの方のご理解とご協力のもと、無事に閉幕を迎えることができました。
皆さま、ありがとうございました。

まだまだ楽しめる！オンライン コンテンツ



KeMCoでの開館記念展は終了しましたがオンラインでは引き続きコンテンツをご覧くださいいただけます。

文字景ギャラリートーク
「文字景」の展覧会監修者の佐々木孝浩先生（斯道文庫）と、松谷芙美KeMCo専任講師によるオンライン・ギャラリートーク。
作品一つ一つの見所や歴史的な背景をご紹介します！

集景ギャラリートーク
「集景」の展覧会企画者である渡部葉子KeMCo副機構長へKeMCo学生スタッフ（KeMCoM）が「展覧会の裏側」をインタビューした、オンライン・ギャラリートークです。

文字景——センチュリー赤尾コレクションの名品にみる文と象

集景ギャラリートーク——集う景色：慶應義塾所蔵文化財より

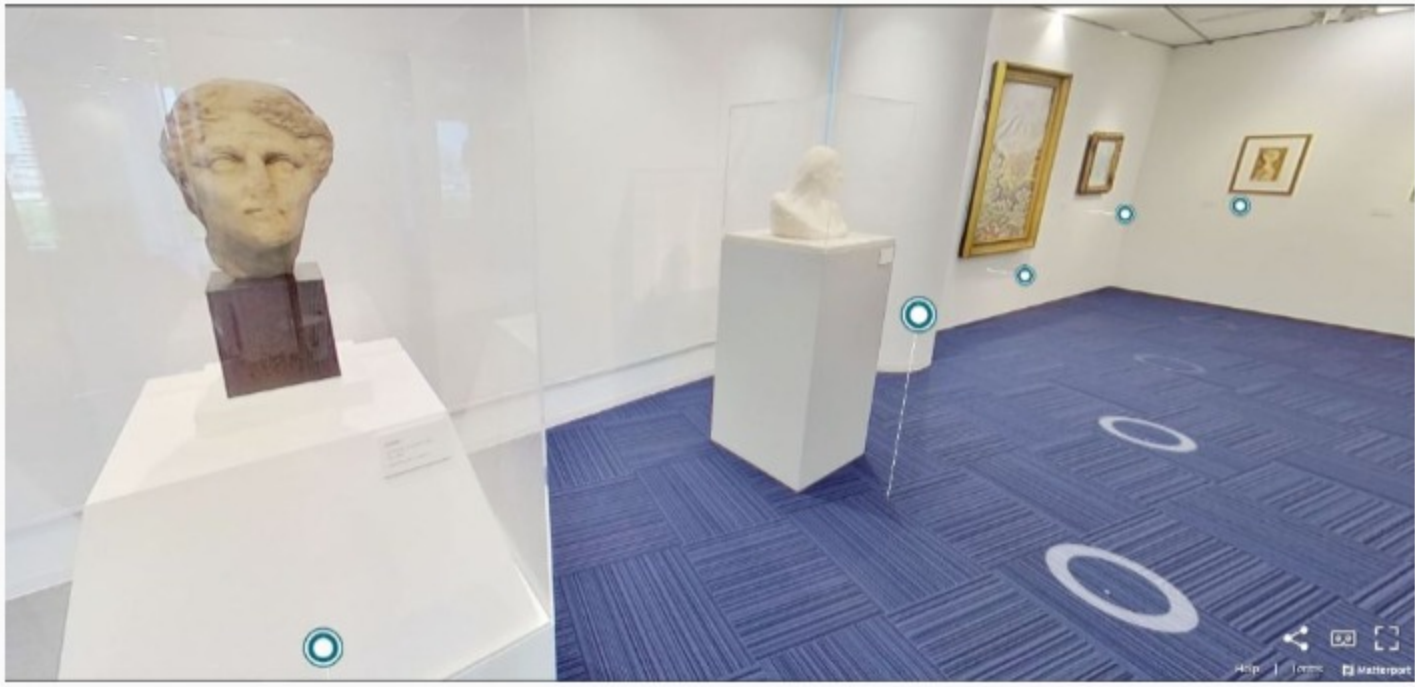
オンライン展覧会 RoomX
KeMCoのグランド・オープンに際してリニューアルした「Keio Exhibition RoomX 交景：クロス・スケープ」では、展覧会に出品された作品解説や、その他 慶應義塾に関する豆知識もご覧いただけます！

KeMCo 360 VIEW
KeMCoでの展覧会「文字景」「集景」が3Dでシームレスにご覧いただけます。
また三田図書館で行われていた展覧会「（西洋）文字景」展（会期終了）も鑑賞することができます。

Keio Exhibition RoomX

KeMCo 360 VIEW

展示室より、推しモノ #03



前回に引き続き、「集景」展示室から作品をご紹介します！展覧会は終わってしまいましたが、KeMCoのウェブサイトでは、3Dヴァーチャルツアーをアーカイヴとして公開していますので、見てみてくださいね。
今回は、千住博《西の街》、ギリシャ時代の大理石彫刻《女性頭部》、北村四海《婦人胸像》を推したいと思います。この3つの作品の共通点は、「きらきらしていること」。作品にぐっと近づいて、いろいろな角度から眺めてみましょう。ギリシャ彫刻と北村四海の作品は大理石でできていて、粒子が光を反射して輝きます。一方の、千住博《西の街》は、一部に麻布が張り込まれていたり、でこぼこした紙を当てて作られた模様があり、その大きさも相まって立体的な印象を受ける絵画です。こちらも角度によって、使用されている絵の具の粒子がきらきらと光って見えます。
《女性頭部》はいずれKeMCoの常設作品として登場する予定なので、つぎに見かけたときは、是非近寄って大理石の質感を体験してみてください。

本間 友（KeMCo専任講師）

空き地

KeMCoM KAHO

はじめまして。KeMCoM(KeMCo学生スタッフ)のKAHOです。
グランド・オープン記念企画「交景：クロス・スケープ」が無事会期終了しました。学生スタッフとして合流してから、とても充実した4ヶ月半でした。学生企画を担当した他、会期中はKeMCo Stud/Oの案内やギャラリー・トークなどの撮影サポート、ワークショップを通して、多くの学びを得ることができました。このような機会を与えてくださった先生方、また関わった全ての方に感謝致します。
昨年はコロナウイルスによって、大学生活を奪われた様な一年でした。オンラインの便利さも好きですが、それ以上にリアルな居場所を切望する日々でした。その中で、オブジェクトを通して、塾内外の人と人を繋ぐKeMCoがオープンし、またその学生スタッフとして密に携わったことで昨年夢見たことが実現できている気がします。
「KeMCoが皆の居場所になります様に」、と今年の七夕の短冊に書こうと思います。叶えられる様に今後もKeMCoMとして盛り上げていきます。

お知らせ

三田でご覧いただける展示

Artist Voice I: 河口龍夫 無呼吸 -7/30（金）
慶應義塾大学アート・センター（事前予約制）

福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館 7/5（月） - 7/5（月）に福沢諭吉の生涯と慶應義塾の160年の歴史を通して、近代文明を考える歴史博物館が三田キャンパス図書館旧館に一般公開されます。（事前予約制）

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想は[こちら](#)

次回のKeMCo Voiceは2021年8月に配信予定です。
[過去のニュースメールはこちら](#)



Copyright © 2019-2021 慶應義塾ミュージアム・コモンズ Keio Museum Commons

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

Tel: 03-5427-2021 Fax: 03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方は[こちら](#)

